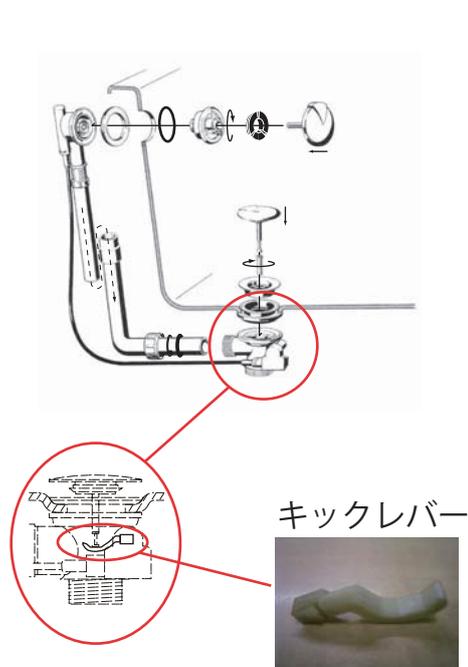


■バス用排水栓キックレバー復旧方法

キックレバーが抜けているのか、折れているのかを確認し、手順書を参考に作業してください。
抜けている場合は、3ページ目の【復旧手順】を参考に作業してください。



- ① 排水部品本体
- ② パッキン
- ③ Oリング
- ④ オーバーフローフランジ部
- ⑤ オーバーフロー穴埋めゴム栓
(3片で1セット)
- ⑥ 操作ハンドル
- ⑦ オーバーフロー管
- ⑧ ジョイントゴム
- ⑨ 袋ナット
- ⑩ スリップワッシャー
- ⑪ テーパーパッキン
- ⑫ 排水栓
- ⑬ 目皿取付ボルト
- ⑭ 目皿
- ⑮ 排水口用U型パッキン

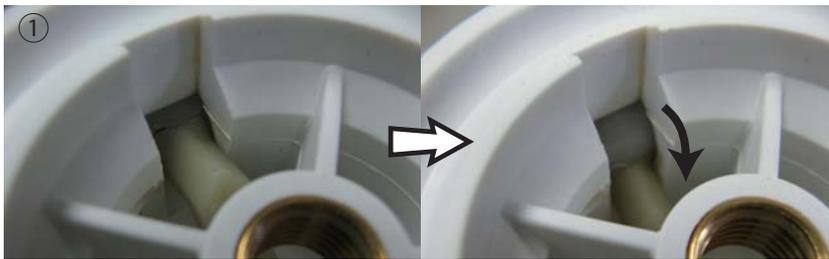


※構造はお送りした現物サンプルで確認ください。

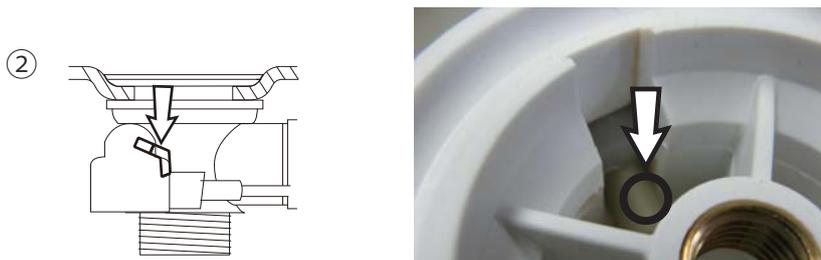


※目皿取付ボルト、目皿を外すと作業しやすくなりますが、
排水部が床下に落ちる可能性があります。
外して作業する場合は左の写真のように排水本体に針金を
くくりつけてから作業してください。

A：キックレバーが途中で折れている場合



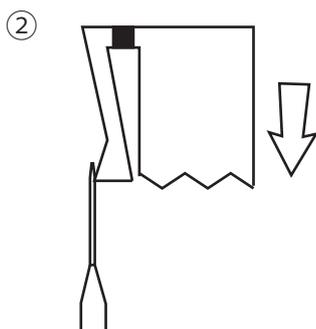
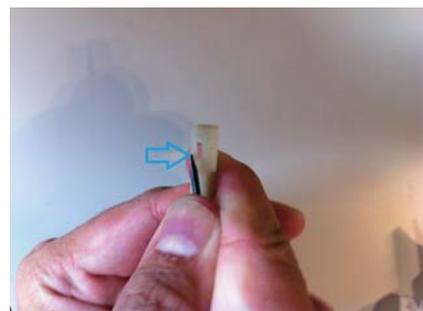
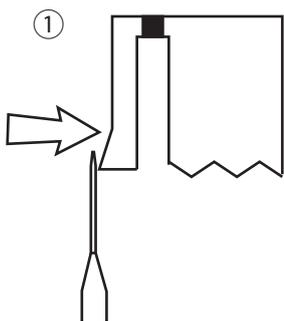
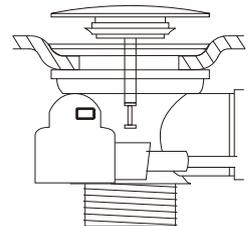
ポップアップハンドルを回して、キックレバーを下向きにする。



○の位置あたりえをめがけてマイナスドライバー等を使って上から叩いて抜き落とします。

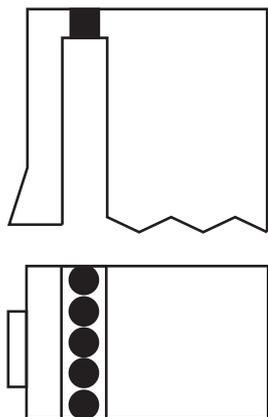
※復旧は3ページ目の【復旧手順】を参考に作業してください。

B：キックレバーの根元で折れ残っている場合



精密ドライバーなど先の細い工具を使用して矢印の方向①に押し込みます。
そのまま手前②に引き出すようにして残部を抜き取ります。

※Bの作業で抜けない場合



ピンバイスなどドリル刃で残存部分を徐々に切断し、ある程度のところでほじくり出して抜去します。

【復旧手順】

キックレバーに針金や切れにくい糸を巻きつけ、排水部に落とし込み作業します。

レバー挿入位置にレバーを合せてドライバーで押し込みます。

※ポップアップハンドルを回しながら押し込むと穴に入れやすくなります。



復旧完了